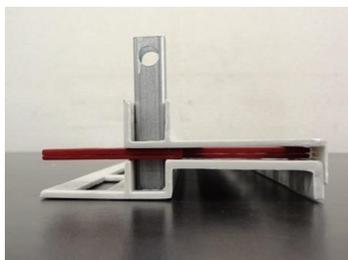


## 社 報



## 東芝の不正会計を思う

## ガッチ敷棧



樹脂製システム型枠「ガッチ」  
コンクリート床取り合い部、ノロ  
流出防止を工夫しました。  
「ガッチ敷棧」です。  
ベース・パッキン・支持棒・カバー  
の4点で構成されます。  
敷棧高さ寸法は30mmです。  
高さ調整範囲は、  
+9.0～-6.0mmです。  
10/25頃倉庫に入荷します。



東芝と言えば、日本を代表する電機メーカーです。調べてみると、資本金が4399億円、売上高が7兆6681億円、従業員数が20万人と、びっくりするほどの巨大名門企業です。

その東芝で、過去何年にも渡って、利益の水増しがなされていたことが、発覚しました。この不正会計を調査した結果、水増し金額は2000億円に達し、東芝の第一四半期の決算は赤字に転落することとなりました。

東芝ほどの大企業ともなれば、監査部門やコンプライアンス(法令遵守)もしっかりしていて不正をはたらく余地などないように思えます。

結論から言えば、大企業のトップといえども人間の弱さを持ち合わせていて、いろんな環境や欲望またプレッシャーを受けて、正しい行動が取れなかったということです。

超大企業のトップともなると、自分の見たくないものは、造り変えてしまえば良いとでも思ったのでしょうか。ビジネスの基本として、事実を正しく認識するという観点が抜け落ちているのではないのでしょうか。

「事実を正しく見る。」簡単なように思えますが、実際には難しいことであると思います。

大企業でも一個人でも、仕事を頑張ったにも関わらず結果が出ないということは非常に辛いことです。

特に期待している仕事、うまく行くと確信している仕事が、こけてしまうとその後が続く仕事も全部こけてしまいかねません。なんとかうまく行っているように帳尻を合わせようという心理が働こうとします。

事実がうまく行っていないのに、うまく行ったように見せかけると、嘘の連鎖が止まらなくなります。

いつか発覚して大騒ぎになるのを分かっているながら、嫌なことを先送りしてその場をしのぐようになります。もうこうなると、「事実」が何だか分からなくなって收拾がつかえません。

仕事の評価・判断は「正しい事実」に基づいて行うべきですが、ふとした油断で「自分が見たい事実」を見てしまうのが人間です。

普段から「正しい事実」を見る訓練を行い、弱い自分を防ぐのです。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

## 労働衛生週間です

10月1日～7日は全国労働衛生週間です。働く人の健康の確保・増進を図り、快適に働くことができる職場づくりに取り組む週間です。

この機会に自主的な労働衛生管理活動の大切さを見直し、積極的に健康づくりに取り組んでみましょう。

ということになっておりますが、

建設業は屋外労働ですし、健康チェックと言われても、体を痛めるような作業の連続です。

そうした労働環境を少しでも改善したいと思いますが、打つ手は限られています。でも少しずつ改善を進めていきたいと思っています。

今月は事故がありませんように！（拜）

## 2015年 安全成績

■現場災害 H27.1.1-H27.10.1	
休業災害	----- 0
不休災害	----- 1
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 1
■交通災害 H27.1.1-H27.10.1	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0